

入塾試験に向けての勉強のポイント

菅田進学塾の入塾試験は、入塾後の授業についていける基礎力が備わっているかを確認するためのものです。特別な対策が必要な難易度ではなく、学校で学ぶ内容をしっかり理解しているかが大切になります。入塾試験で重視している観点を踏まえて学習することは、学校の勉強にもつながります。入塾を検討される際は、ぜひ以下のポイントを参考にしてください。

菅田進学塾・菅田進学塾ism（難関高校受験コース）小学部をめざす！

★難易度・合格の目安は？

① 小学校の学習 内容が中心です

出題は**学校で学ぶ内容がベース**で、特別な難問はありません。教科書レベルの内容がしっかり身につけていることが目安になります。日頃から学校のテストで高得点を取れていれば、十分に合格が狙えます。

② 学年が上がると 難易度が上がります

入塾後のカリキュラムは学校とは進度が異なるため、学年が進むほど理解が必要な範囲が広がります。そのため、**同じ基準でも上の学年ほど合格が難しくなる**傾向があります。

ただし、学習習慣の変化や意欲の高まりによって成績が伸び、上位学年で合格するケースもあります。

③ 基本的な学習 習慣が大切です

入塾試験では、教科書内容を理解し、自分の力で考える姿勢が大切です。**日頃の授業への取り組み、宿題、読書などの積み重ね**が力になります。

中学生の場合は、定期試験の結果が学力を反映しやすいため、学校の成績が良い生徒は合格可能性が高まります。

★どのような学習を積みばよいか？ ～小学生編～

小学生は定期試験に向けて計画的に勉強する経験が少なく、学力が安定しにくい傾向があります。そのため、入塾試験の点数が大きく上下するケースも珍しくありません。小学校では短時間で基礎を確認するテストが多いため、長めのテスト形式に慣れていないことも影響します。

① 薄めの問題集を仕上げる

学校の学習だけでは演習量が不足することがあります。入塾試験では、計算力・語彙力・知識などの基礎に加え、「その場で考えて答えを出す力」も求められます。

一般の書店にある問題集で十分です。学校内容と同程度か、やや難しめのレベルを選び、**1～2 か月で1冊をやり切ることをおすすめ**します（中学受験用である必要はありません）。**厚すぎるものより、無理なく終わらせる薄めの問題集が効果的**です。

② 保護者のサポートも重要

小学生は、問題意図をつかむのが苦手だったり、語彙が不足したり、といった理由で一人では正しく解けないことがあります。特に国語は、学校で“みんなで文章を読み解く”授業が多いため、初見の文章を一人で読んで答える経験が不足しがちです。

毎日30分でも、**一緒に問題文を読み、考え方を確認しながら勉強を進めることで大きな力**になります。

「これから入塾試験に挑むみなさまへ」P.25

★難易度・合格の目安は？

① 学校の定期試験と
ほぼ同程度の難易度

入塾試験の難易度は、学校の定期試験とほぼ同じです。学年・時期・定員により変動しますが、**AB 合格は 7～8 割程度の得点が合格ライン**で、A 合格はそれよりも基準が下がります。中学生は、範囲の決まった定期試験に向けて準備する経験があるため、多少の緊張があっても点数が大きく上下することは多くありません。そのため、**普段の定期試験の成績が、入塾試験の良い目安**になります。

② 菅田進学塾の授業と
お子さまの学力が合うか

菅田進学塾の授業は、上位 30%程度の学力を有する上位生に対して本質的な学力を伸ばす指導を行い、難関校合格へと導くものです。入塾試験は、その**授業がミスマッチにならないかどうかをみるため**のものです。中学校で上位 10%、20%といった成績をおさめている場合、不合格になることはめったにありません。上位 40%前後でも、その日の出来次第で十分合格可能です。自信をもって挑戦してください。

★どのような学習を積みばよいか？ ～中学生編～

① 学校の教科書と
ワークを中心に学習

入塾試験では、見たことのない難問や奇問はほとんど出題されません。学校の教科書やワークを中心に学習し、**定期試験や模擬試験と同じ**ように取り組みれば十分です。中学校の既習範囲と試験範囲にずれがある場合は、試験範囲に合わせて問題演習をしておくことをおすすめします。

② 定期試験の
結果が実力の目安

中学生になると、**定期試験の成績に実力が現れる**ようになります。定期試験の成績が良い生徒は、入塾試験でも合格しやすい傾向があります。まずは定期試験に向けてしっかり準備し、努力の成果を入塾試験にもつなげましょう。

③ 問題を「解く」
勉強を重視

教科書を読むだけの勉強（インプット）だけでは理解が定着しにくく、実際に問題を解く（アウトプット）ことで初めて力が身につきます。解く勉強を積むことで、**自分で考えて答えを導き出す力**が養われ、入塾試験の結果にもつながります。

特別募集について

中学生を対象に、入塾試験を免除して入塾できる「特別募集」の制度を設けています。この制度では、学校での成績をもとに入塾資格を得ることができ、入塾時には「A 合格」と同等の扱いとなります。入塾試験を受けることなく、学習を始められます。

★資格基準

直近の中学校成績が
【通知表：5科21以上】
または
【定期試験：5科420点以上】

★難易度・合格の目安は？

「塾に通うのはこれから」であることを前提として作問しますので、特別な勉強をしていなければ解けないような問題は出題しませんが、小学校で学習する内容よりは難しいです。例として、全国統一小学生テストとおおむね同じ難易度です。全国統一小学生テストで6～7割くらい得点できれば力としては十分で、あとはその日の出来次第だと思います。

ただし、sirius コースは難関私立中学合格を目指す特別なカリキュラムです。学習内容は通常の小学校の範囲とはまったく異なります。そのため、途中からの入塾は容易ではありません。特に小5以降に途中入塾を希望する場合は、中学受験の本格的な学習経験がある生徒でないと難しいと考えてください。

★どのような学習を積みばよいか？ ～sirius 編～

sirius コースに入塾するには、特別な学習が必要だと考えている方が多いようですが、はじめから高い学力を持っている必要はありません。スタート時点では、難関高校受験コース小学部の入塾基準と同じですので、学習方法も同様で問題ありません。問題集を選ぶ際、難しすぎるものを選ばないようにしてください。できない問題ばかりが並んでいると、子どものやる気が落ちて継続できなかったり、教え込むばかりになってしまったりします。半分くらいは正解できるものを選ぶのがおすすめです。ただし、小4のカリキュラムが始まった後に入塾を希望する場合は、通常の小学校の学習だけでは十分ではなく、特別な勉強が必要になります。その際は、教室まで直接ご相談ください。

これから入塾試験に挑むみなさまへ

もし入塾試験に不合格になっても、あきらめずに再挑戦してほしいと考えています。繰り返し受験したり、学年が上がってから挑戦したりすることも可能です。

私たちは、合否の結果よりも、入塾後の学習に取り組む姿勢を大切にしています。実際、入塾試験を何度も受けて入塾した生徒の中には、入塾後に大きく伸びて難関校へ進学した卒業生もたくさんいます。

ひとり一人の成長をサポートすることには自信があります。入塾後は、受験を通して学びを深め、自分の力で成果を出し、未来を切り拓いていくことができるよう指導していきます。

営田進学塾 Web Site
「入塾試験」ページ

最新の入塾試験の情報
など、随時更新してい
ます。

